

希望を未来へとつなぐ 8月



短い夏休みが終わり、17日から2学期が始まりました。大野っ子たちの元気な声が、再び戻ってきました。今年の夏は例年以上の暑さで、連日40℃を超える地域もあるようです。

さて、毎年8月になると戦争と平和を考える機会があります。8/6の広島原爆の日、8/9の長崎原爆の日、そして8/15の終戦記念日。この3日は、日本各地で式典や行事があったり、新聞やテレビで特集が組まれたりします。戦後75年の今年は、コロナ禍の影響で各式典等は規模を縮小して執り行われたようです。子どもたちは、国語科の「ちいちゃんのかげおくり(3年)」や「一つの花(4年)」、6年社会科の歴史等の授業で平和について学習しますが、時代

が令和になり、戦後生まれの人口が全体の8割を超え、戦争が「記憶」から「歴史」へと変わりつつある中、戦争の記憶を風化させず、語り継ぐことが重要ではないでしょうか。終戦から75年が経ち、平和を当たり前のように受け入れている私たちですが、毎年8月は、今ある平和についてしっかり考え、子供たちの未来への責任を実感する機会にしたいと思います。5月に実施しました、海南市の保護者アンケート結果がまとまりましたので報告します。

令和元年度 保護者アンケート結果集計表 [割合(%)]

評価番号	評価項目	令和2年度					4 + 5	R元 4 + 5	H30 4 + 5	H29 4 + 5	H28 4 + 5
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 あまりそう 思わない	2 まったくそう 思わない	1 わからない					
1	子どもは、楽しく生き生きとした学校生活をおくっている	25.1	68.8	4.0	0.0	2.0	93.9	96.9	92.5	94.9	93.8
2	学校は、教育の目標や方針を保護者にわかりやすく伝えている	9.0	75.8	10.0	0.0	4.0	84.8	89.7	88.1	90.2	84.5
3	学校は、子どもにわかるように、授業を工夫している	11.1	69.3	6.5	0.0	13.5	80.4	90.3	89.7	87.1	76.2
4	学校は、善悪の判断や正直さ、友情や公正・公平さの態度が身につくように指導している	12.5	61.3	7.5	1.0	17.6	73.8	82.6	79.5	74.8	75.1
5	学校は、体力の向上、健康や安全に関する指導に取り組んでいる	13.0	72.4	5.0	0.0	9.5	85.4	96.4	91.1	94.8	91.7
6	学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる	6.0	54.2	9.0	0.0	30.6	60.2	73.8	73.0	62.9	58.5
7	学校は、子ども一人一人が大切にされ、認められる学校づくりに取り組んでいる	12.5	67.8	3.5	0.5	15.6	80.3	83.1	83.8	82.0	74.6
8	学校は、子どもにあいさつ・返事・掃除など基本的な生活習慣が身につくように指導している	16.0	71.9	5.0	0.5	6.5	87.9	88.2	90.3	87.2	86.6
9	学校は、家庭・地域との連携・協力を推進している	16.0	71.9	3.0	0.0	9.0	87.9	93.3	89.2	90.7	87.0
10	学校は、安全・安心な教育環境が整備されている	11.1	69.8	8.0	0.5	10.6	80.9	86.7	81.1	81.5	81.9
11	海南市の小学校に通わせて良かったと思う	32.7	61.3	1.5	0.5	4.0	94.0	91.8	90.3	87.2	88.1
11項目の平均肯定率							82.7	88.4	86.2	84.8	81.6

85%以上の肯定率は、11項目中5項目でした。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大による2ヶ月の臨時休業に加え、授業参観や育友会活動の機会等がなかったため、保護者の皆様に本校の取組や子どもたちの様子を見ていただくことができない中でのアンケート調査でした。そのため、各項目において「わからない」と回答された割合が、例年より5～10%ほど多くなりました。今回「1子どもは、楽しく生き生き…」と「11海南市の小学校に…」の2項目について肯定意見が多かったことは、大変うれしい結果でした。しかし、今年度の本校の教育方針及び指導内容、各種取組が、保護者の方々の期待・ニーズにまだまだ応えられていないことを痛感しています。

今回のアンケートと昨年度末の学校アンケートのご意見を参考に、強化・改善できるところから取り組んでいきたいと思ひます。